

平成21年11月26日

平成21年度上期（4～9月）四国地域の電力需要の動向

～総需要電力量、三期連続で減少となる～

四国地区の平成21年度上期の総需要電力量（電気事業者の販売電力量＋自家発電電力量）は、174.8億kWhとなり三期連続で減少となった。また、総需要電力量の前年同期比は、8.0%減となった。

大口需要（自家発電電力量含む）は、75.5億kWhとなり、前年同期比13.6%減となった。

1. 総需要電力量は、7月から9月の気温が前年に比べ低めに推移したことによる空調需要の減少や生産調整による大口需要（産業用）が減少したことなどから前年同期比8.0%減となった。
2. 大口需要は、全ての業種で減少したことから前年同期比13.6%減となった。
3. 自家発電電力量は、生産調整の影響により、前年同期比6.4%減となった。また、自家用発電所数は、100となり前年同期比9.9%減となった。

【総需要、大口需要、自家発電電力量、自家用発電所数】

	実績	前年同期比（%）
総需要（億kWh）	174.8	▲ 8.0
大口需要（億kWh）	75.5	▲ 13.6
自家発電電力量（億kWh）	34.0	▲ 6.4
自家用発電所数	100	▲ 9.9

（本発表資料のお問い合わせ先）

四国経済産業局資源エネルギー環境部資源エネルギー環境課電力開発計画室

担当者：近藤室長、久保係長

電話：087-811-8533（直通）

URL：<http://www.shikoku.meti.go.jp/>

用途別需要実績（平成21年度上期）

用 途	四国			全国		
	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年同期比 (%)	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
電灯	4,443,034	25.4	97.4	132,598,567	27.6	98.7
低圧	680,598	3.9	94.5	16,526,702	3.4	93.2
その他	306,489	1.8	95.0	6,341,517	1.3	99.7
電力計	987,087	5.6	94.6	22,868,219	4.8	94.9
電灯電力計	5,430,121	31.1	96.9	155,466,786	32.3	98.1
特定規模需要	8,652,792	49.5	88.5	273,487,138	56.9	89.5
販売電力量	14,082,913	80.6	91.6	428,953,924	89.3	92.4
自家発	3,395,040	19.4	93.6	51,631,098	10.7	90.3
総需要	17,477,953	100.0	92.0	480,585,022	100.0	92.2
大口需要	7,549,386	43.2	86.4	189,724,339	39.5	85.8

資料出所：（全国実績）「電力調査統計（資源エネルギー庁）」

- （注） 1. 自家発とは1000kW以上の自家発自家消費電力需要。
 2. 特定規模需要とは特別高圧電線路又は高圧電線路から受電する、使用最大電力が原則50kW以上の需要。
 3. 総需要には、特定供給及び電気事業者の自家消費は含まれていない。
 4. 大口需要とは主として動力を使用する需要で、契約電力（出力）が500kW以上の需要と自家発の合計。
 5. 四捨五入の関係で集計値とその合計値は必ずしも一致しない。

大口需要主要業種別内訳（平成21年度上期）

業 種	四国			全国		
	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年同期比 (%)	実績 (千kWh)	構成比 (%)	前年同期比 (%)
食 料 品 製 造 業	266,732	3.5	97.1	10,381,530	5.5	(98.2)
織 維 工 業	415,961	5.5	78.7	3,517,513	1.9	(224.9)
パルプ・紙・紙加工品製造業	2,622,952	34.7	86.5	12,720,653	6.7	(85.6)
化 学 工 業	1,407,043	18.6	86.2	26,693,150	14.1	(82.4)
石油製品・石炭製品製造業	335,870	4.4	89.8	4,904,242	2.6	(91.7)
窯業・土石製品製造業	220,833	2.9	80.9	7,725,875	4.1	(83.2)
鉄 鋼 業	379,561	5.0	74.0	32,258,003	17.0	(78.5)
機 械 器 具 製 造 業	858,327	11.4	87.9	37,330,382	19.7	(80.1)
そ の 他	1,042,107	13.8	91.8	54,192,991	28.6	(91.2)
合 計	7,549,386	100.0	86.4	189,724,339	100.0	(85.8)

資料出所：（全国実績）「電力調査統計（資源エネルギー庁）」

- （注） 1. 業種別分類は、日本標準産業分類の分類方法に準じて分類している。
 2. 平成20年4月1日付けで日本標準産業分類の分類方法に改正があり、平成21年度上期より改正に対応し変更した。
 3. 日本標準産業分類の改正において、化学工業に分類されていた化学繊維が繊維工業に、パルプ・紙・紙加工品製造業に分類されていた繊維板が木材・木製品製造業に移設された。なお、当局では、木材・木製品製造業をその他で集計しているため、繊維板はその他で集計している。
 4. 四国の前年同期比については、平成20年度上期の実績値を日本標準分類改正後の分類に変更した数値を使用して算出している。
 5. 全国の前年同期比については、平成20年度上期の実績値を日本標準分類改正後の分類に変更できないため改正前の実績値を使用し算出している。

用途別需要実績前年同期比の推移（四国）

用 途	21年度 上期	20年度 下期	20年度 上期	19年度 下期	19年度 上期	18年度 下期	18年度 上期
電灯	97.4	98.1	100.2	107.7	99.2	96.0	102.5
低圧	94.5	92.7	96.7	110.9	97.1	86.4	95.0
その他	95.0	95.2	97.5	93.3	97.7	100.5	95.9
電力計	94.6	93.6	96.9	103.5	97.3	91.7	95.3
電灯電力計	96.9	97.3	99.6	107.0	98.8	95.3	101.0
特定規模需要	88.5	91.8	96.8	100.2	103.8	101.9	103.3
販売電力量	91.6	94.0	97.8	102.8	102.0	99.2	102.5
自家発	93.6	89.4	113.8	112.3	97.2	95.3	94.0
総需要	92.0	92.9	100.3	104.5	101.1	98.5	100.9
大口需要	86.4	87.5	101.0	103.4	102.0	100.5	100.4

（注）用途別需要実績及び大口需要主要業種別実績の時系列データは、当局HPに掲載している。

自家用発電所数の推移（四国）

原動力	21年度 上期	20年度 下期	20年度 上期	19年度 下期	19年度 上期	18年度 下期	18年度 上期
火 力	汽 力	33	33	34	34	34	33
	ガスタービン	5	6	6	6	6	5
	内 燃 力	51	55	61	66	68	78
そ の 他	11	11	10	8	9	8	6
合 計	100	105	111	114	117	118	122

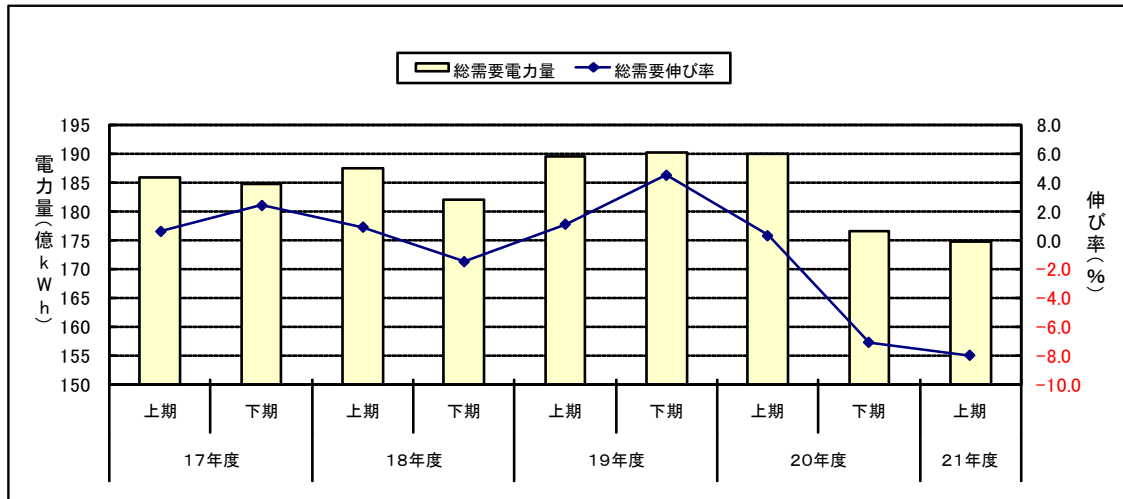
（注）自家用発電所数は、1000kW以上の発電所を集計。

自家用発電所数前年同期比の推移（四国）

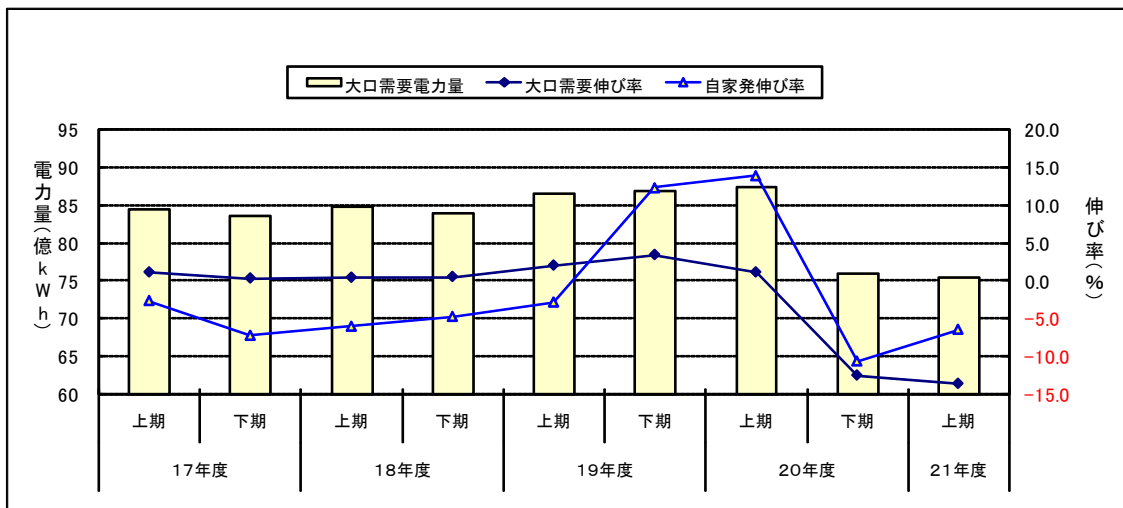
原動力	21年度 上期	20年度 下期	20年度 上期	19年度 下期	19年度 上期	18年度 下期	18年度 上期
火 力	汽 力	97.1	97.1	100.0	100.0	103.0	103.1
	ガスタービン	83.3	100.0	100.0	100.0	120.0	83.3
	内 燃 力	83.6	83.3	89.7	94.3	87.2	92.9
そ の 他	110.0	137.5	111.1	100.0	150.0	133.3	120.0
合 計	90.1	92.1	94.9	96.6	95.9	94.4	96.1

四国地域の電力需要の推移

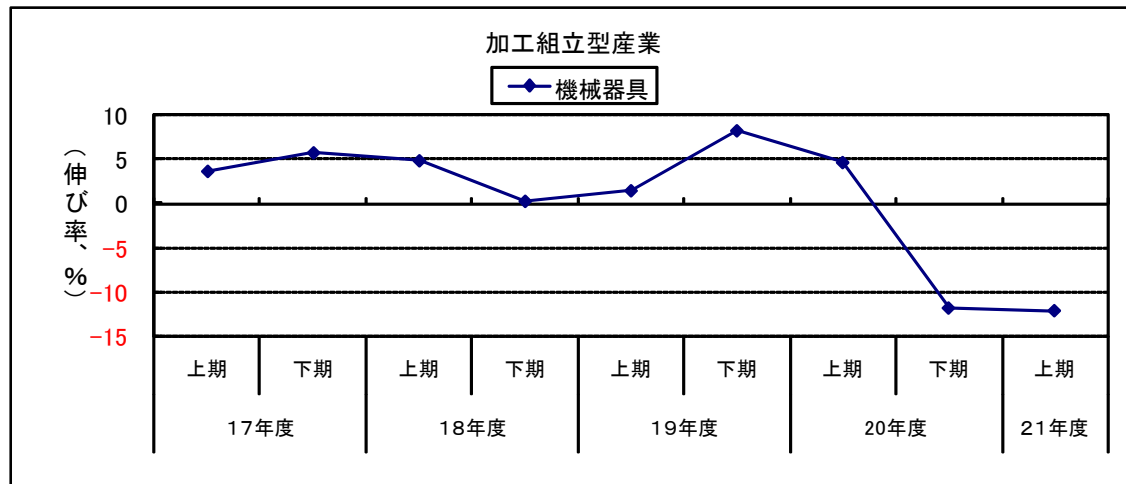
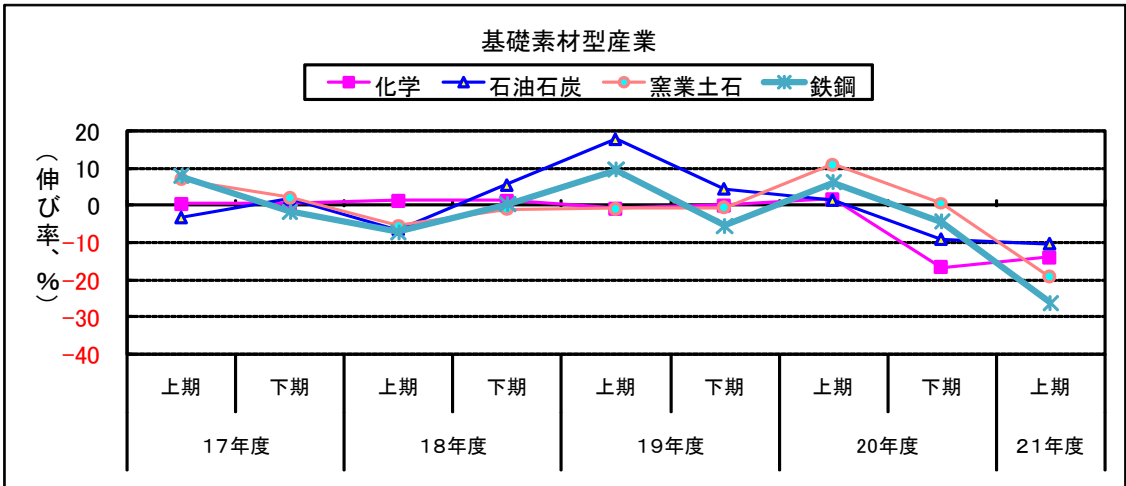
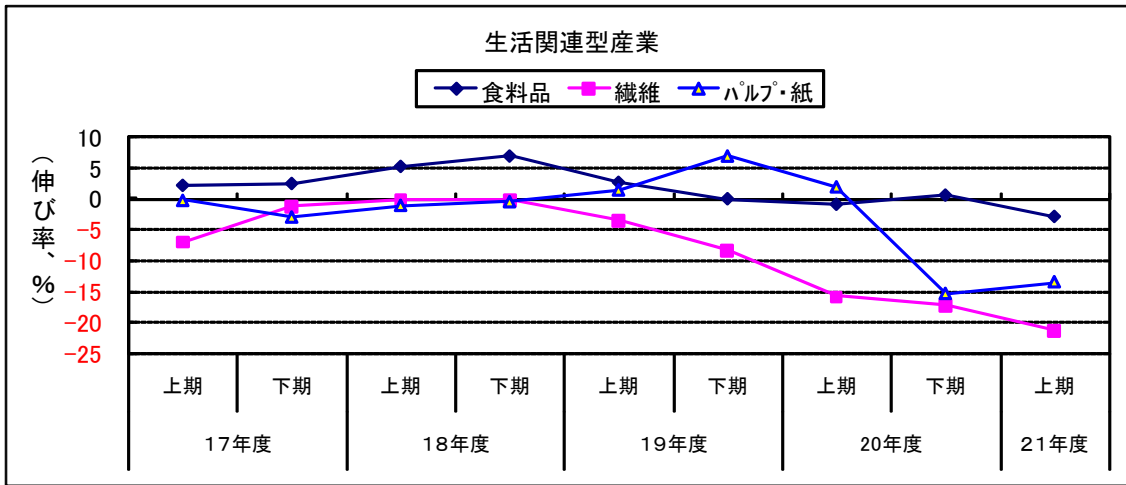
<総需要電力量と総需要伸び率>



<大口需要電力量、大口需要伸び率及び自家発電伸び率>



<大口需要主要業種別の前年同期比伸び率グラフ>



(注) 1. 平成20年4月1日付けで日本標準産業分類の改正があり、平成21年度上期より改正に合わせた。
 2. 日本標準産業分類の改正において、化学繊維が化学工業から繊維工業に分類された。
 3. 平成21年度上期の伸び率については、平成20年度上期の実績値を日本標準分類改正後の分類に変更した数値を使用して算出している。